

2025年3月期 決算説明会

株式会社 き も と

2025年 5月16日

1 2025年3月期 決算について

2 2026年3月期 通期業績予想

3 フィルム事業

4 デジタルツイン事業

5 トピックス

6 第6次中期経営計画

2025年 3 月期実績 前年比

■ 利益率の高い高付加価値製品（遮光、粘着製品等）が堅調に推移したことに加え、継続的な品質の追求や生産業務効率化及び低収益品の統合による製造原価低減に努め、収益を維持しました。

単位：百万円

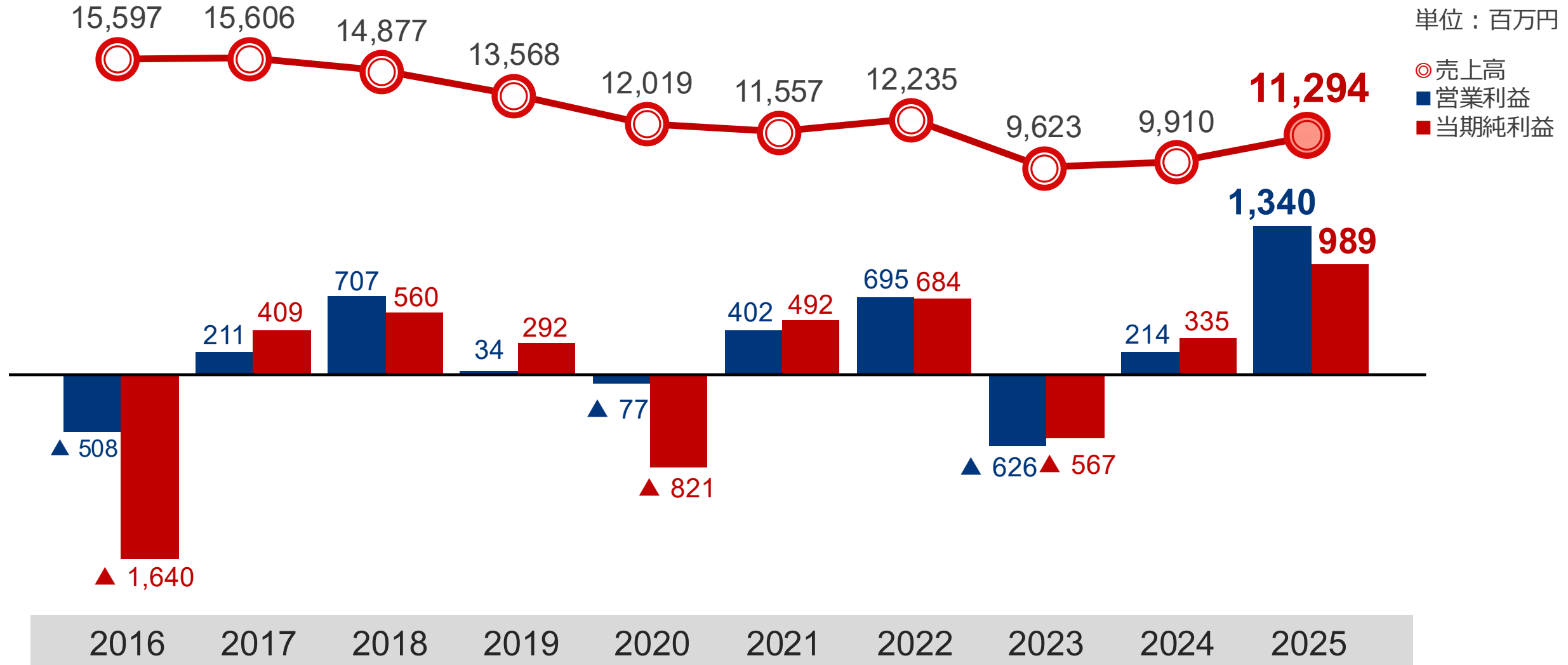
	2024年3月期 通期	2025年3月期 通期 予想	2025年3月期 通期	増減	増減率(%)
売 上 高	9,910	10,900	11,294	1,384	14.0
売上総利益	3,164	-	4,401	1,236	39.1
販売管理費	2,949	-	3,061	111	3.8
営 業 利 益	214	1,000	1,340	1,125	524.0
経 常 利 益	408	980	1,378	969	237.0
税引前利益	381	-	1,404	1,023	268.3
当期純利益	335	720	989	654	195.5

2025年3月期決算について

売上高・営業利益・純利益 [連結]

2016年3月期～2025年3月期 比較

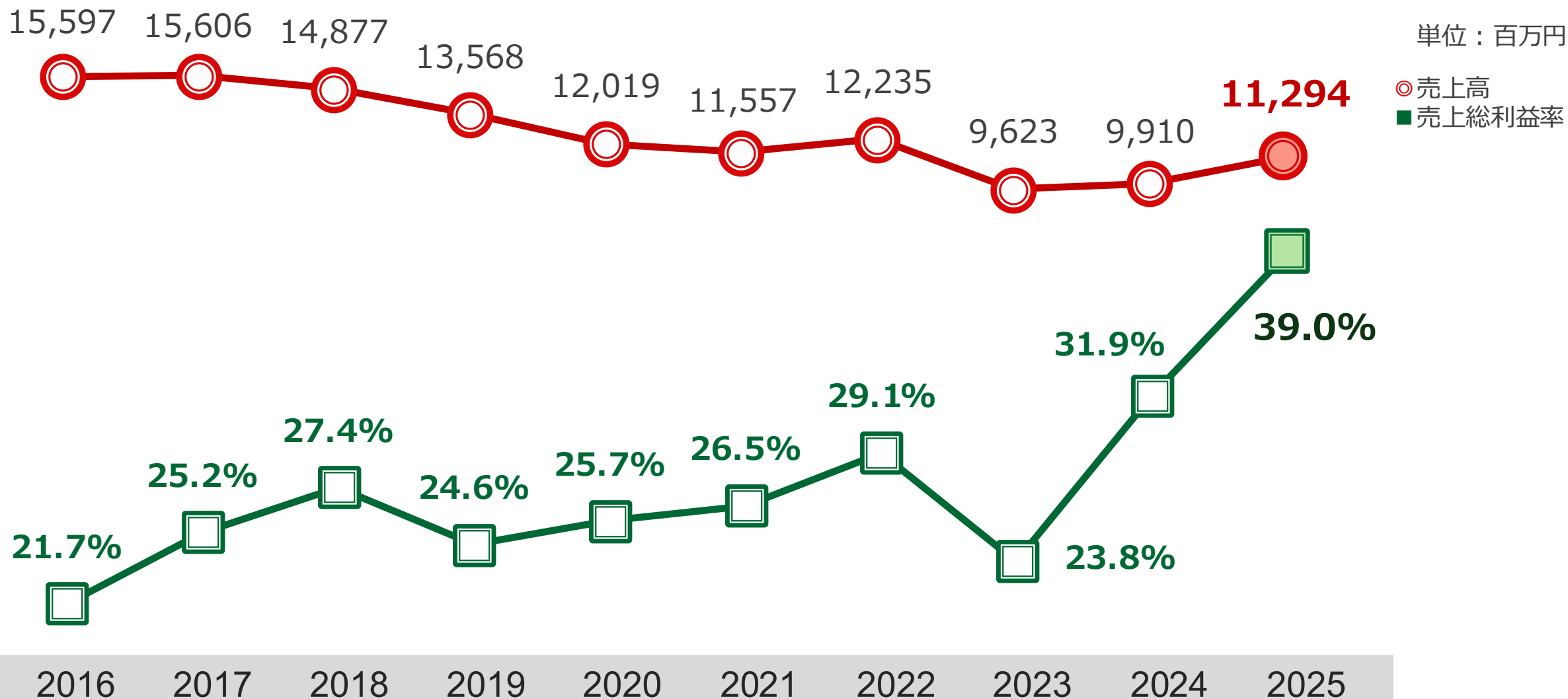
単位：百万円



2025年3月期決算について

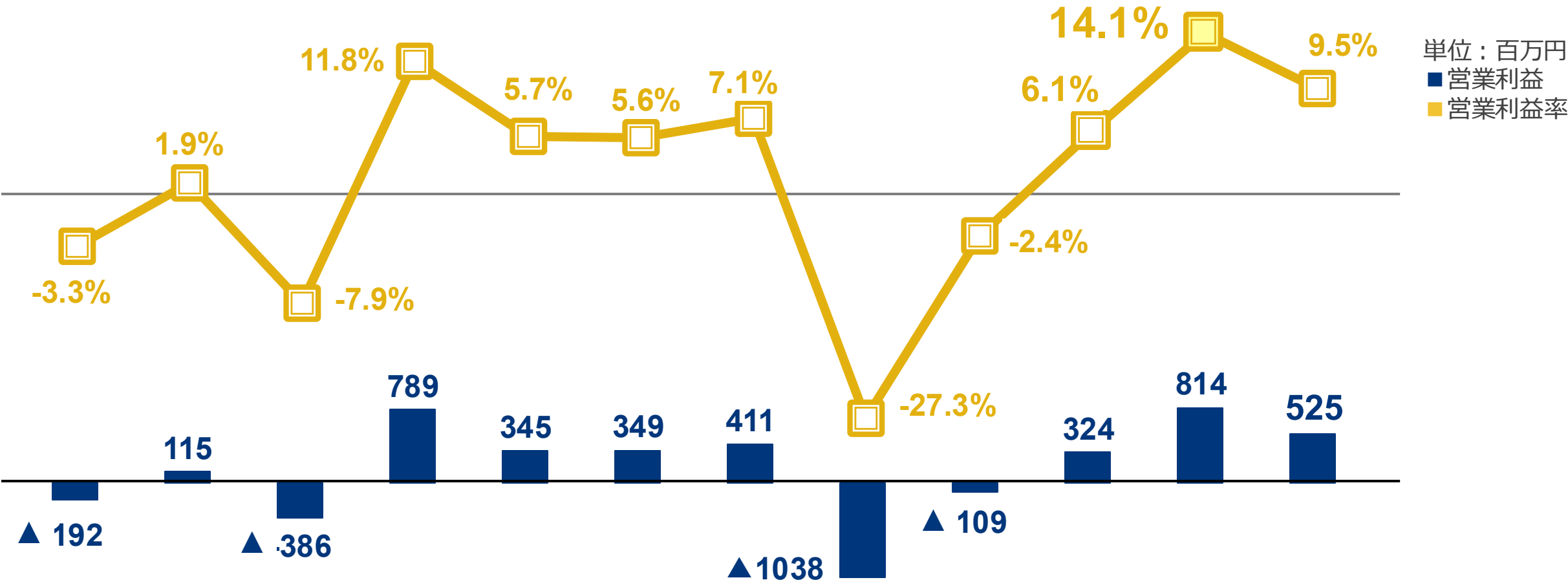
売上高・売上総利益率 [連結]

2016年3月期～2025年3月期 比較



営業利益・営業利益率 [連結]

2020年 3 月期～2025年 3 月期 半期 比較



上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
2020		2021		2022		2023		2024		2025	

KIMOTOグループ業績

単位：百万円

		日本	アメリカ	スイス	中国
					
売上高	2025年 3 月期	10,491	862	733	160
	2024年 3 月期	14% UP 9,225	40% UP 616	21% UP 603	24% DOWN 210
営業利益	2025年 3 月期	1,446	△ 139	52	△ 27
	2024年 3 月期	439	△ 273	35	6

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

【日本】 売上構成

単位：百万円

	2024年3月期	構成比	2025年3月期	構成比	増減	増減率(%)
フィルム事業	8,796	95.3%	10,098	96.3%	1,302	14.8%
通信機器	2,864	31.1%	3,871	36.9%	1,006	35.1%
輸送機器	1,368	14.8%	1,815	17.3%	447	32.7%
産業機器	1,200	13.0%	1,153	11.0%	△46	△3.9%
その他	3,363	36.5%	3,258	31.1%	△104	△3.1%
デジタルツイン事業	429	4.7%	392	3.7%	△36	△8.5%
3D	235	2.6%	175	1.7%	△60	△25.6%
2D	123	1.3%	86	0.8%	△37	△29.9%
その他	69	0.8%	130	1.2%	61	87.5%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

【アメリカ】 売上構成

単位：百万円

	2024年3月期	構成比	2025年3月期	構成比	増減	増減率(%)
フィルム事業	616	100.0%	862	100.0%	246	40.0%
通信機器	111	18.0%	159	18.5%	48	43.9%
輸送機器	250	40.6%	279	32.4%	28	11.5%
その他	254	41.4%	423	49.1%	168	66.2%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

【スイス】 売上構成

単位：百万円

	2024年3月期	構成比	2025年3月期	構成比	増減	増減率(%)
フィルム事業	603	100.0%	733	100.0%	129	21.5%
通信機器	71	11.8%	98	13.4%	27	38.6%
輸送機器	277	45.9%	332	45.3%	55	19.9%
その他	255	42.3%	302	41.2%	46	18.4%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

【中国】 売上構成

単位：百万円

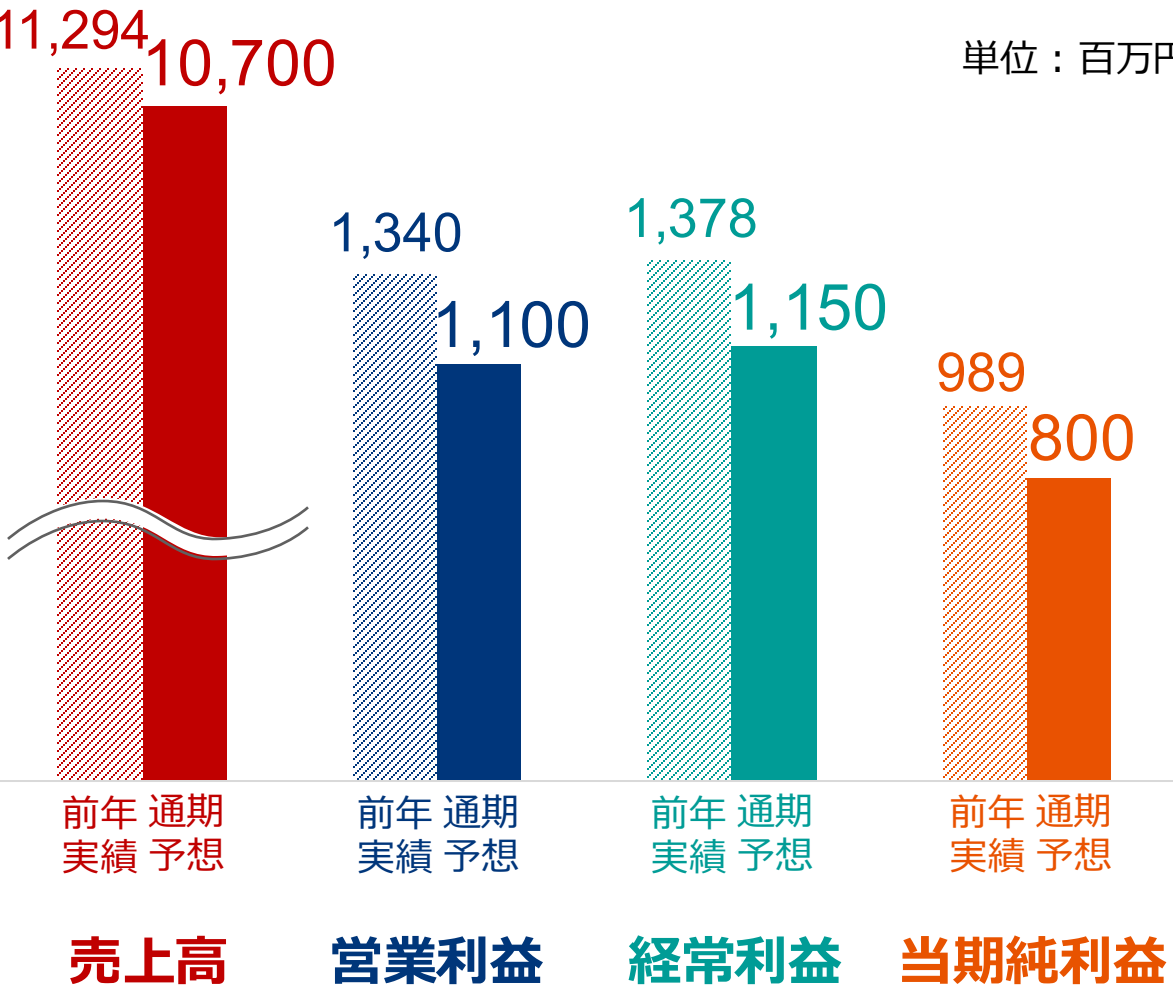
	2024年3月期	構成比	2025年3月期	構成比	増減	増減率(%)
デジタルツイン事業	210	100.0%	160	100.0%	△50	△23.8%
3D	120	57.4%	76	48.1%	△43	△36.2%
2D	51	24.3%	48	30.3%	△2	△4.9%
その他	38	18.3%	34	21.6%	△3	△10.1%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

- 1 2025年3月期 決算について
- 2 2026年3月期 通期業績予想**
- 3 フィルム事業
- 4 デジタルツイン事業
- 5 トピックス
- 6 第6次中期経営計画

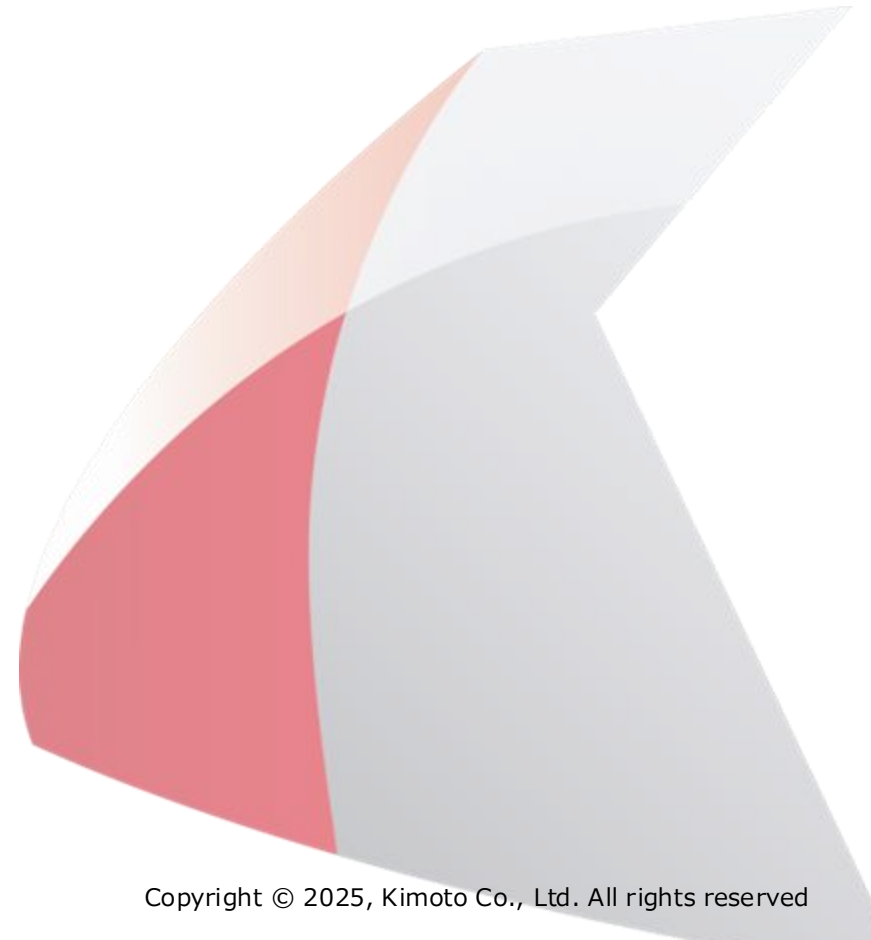


通期業績予想 [連結] 前年実績比減少の要因



- 米国関税の影響による出荷量減少
- 中国を中心とした顧客からの通信機器関連、輸送機器関連の受注減

- 1 2025年3月期 決算について
- 2 2026年3月期 通期業績予想
- 3 フィルム事業**
- 4 デジタルツイン事業
- 5 トピックス
- 6 第6次中期経営計画





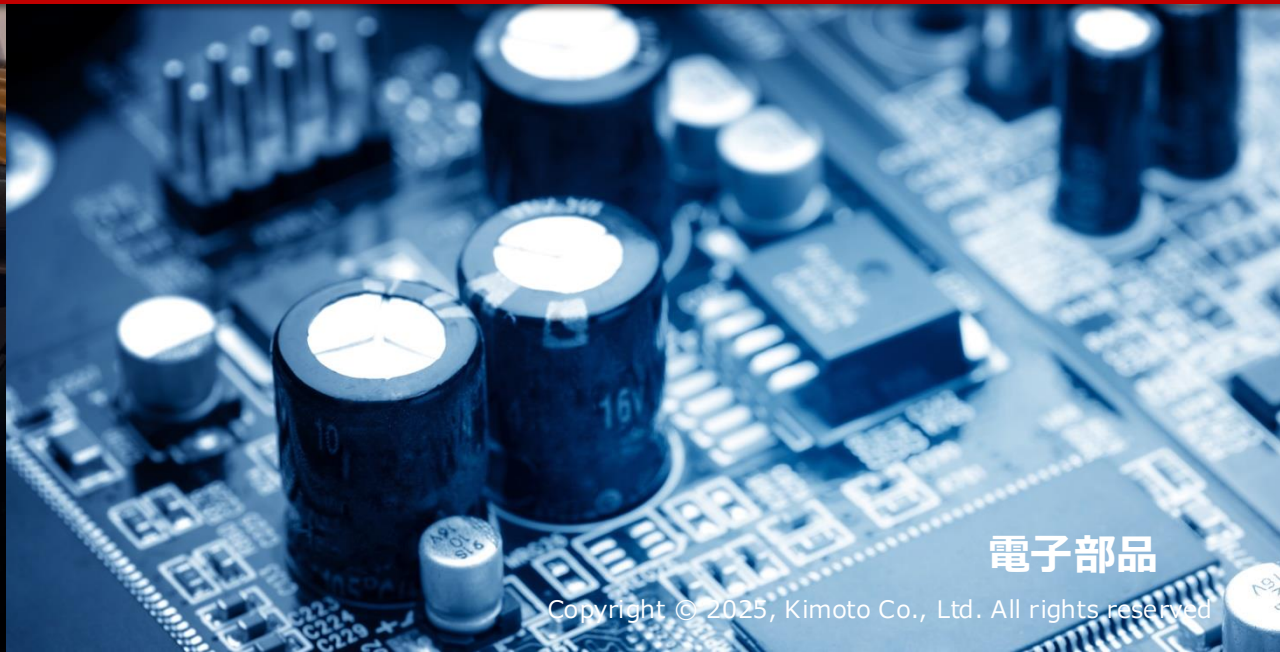
カメラ部材

通信機器・輸送機器が好調



KIMOTO

液晶ディスプレイ
バックライト部材



電子部品

製品化を飛躍的に伸ばす

- 開発を分業することにより、1つの案件を複数人の専門担当が同時進行し製品化納期が短縮され、実験量が増えアウトプットの増加に繋がります。



要件定義



設計



設計補助



タスク管理



マテリアル

設計の分業化



実験

アウトプット
増加

製品化納期
短縮

実験量
増加

製品開発の状況

■ **分業化**により**実験量が増加**し、**製品化納期が短縮**され、**新製品の売上は増加**しました。

	対前期増減率
実験量 ※1	67% 増加
製品化納期 ※1	37% 短縮
新製品売上 ※2	75% 増加

※1：各期で扱った案件に要した開発期間、及び実験を行った時間の平均値

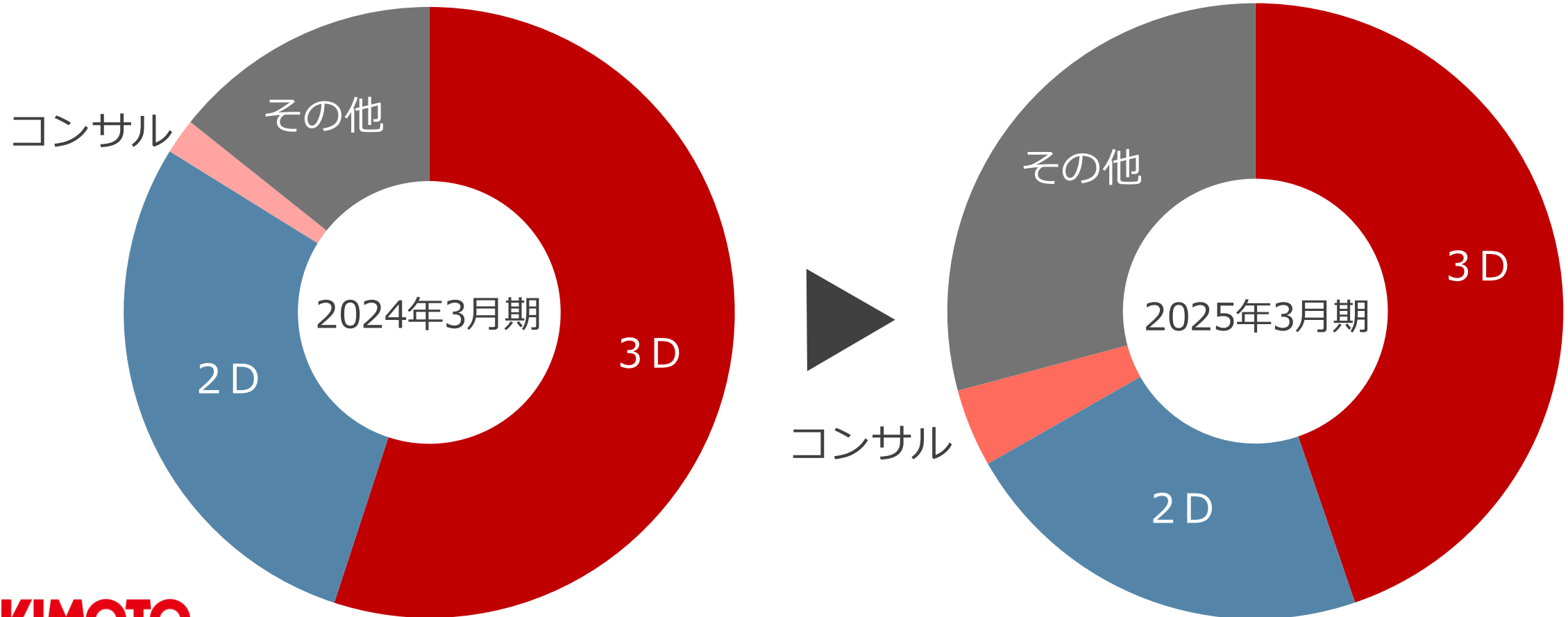
※2：新製品とは発売から3年以内に発売された製品を含む

- 1 2025年3月期 決算について
- 2 2026年3月期 通期業績予想
- 3 フィルム事業
- 4 デジタルツイン事業**
- 5 トピックス
- 6 第6次中期経営計画



【日本】デジタルツイン事業売上高構成

- 3Dモデル関連の案件獲得に向けた活動を行ってきましたが、結果として前年比では減少となりました。
一方、コンサルティング案件は新規案件や継続契約の受注を獲得し、順調に進捗しています。

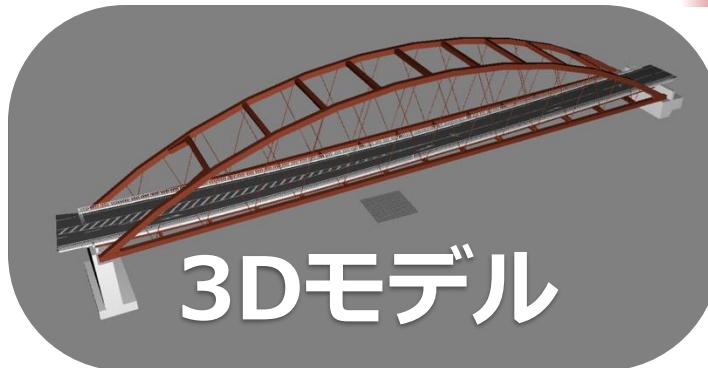


ソフト開発

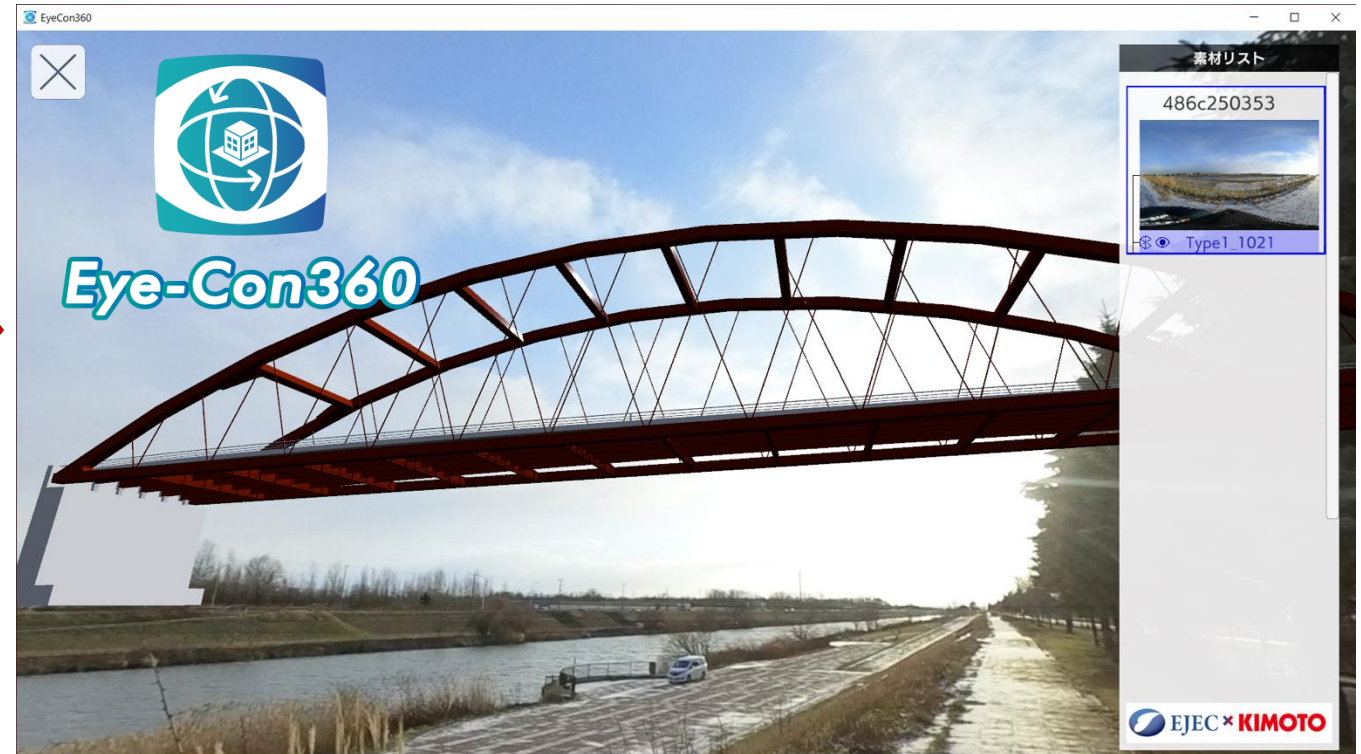
- 360度写真（全天球画像）と3Dモデルを組み合わせることでシミュレーションを容易にできるシステム「Eye-Con360」を、エイト日本技術開発（EJEC）と共同開発。



+



360度写真に3Dモデルをはめ込んだ画像



製造業DX・建設業DX 展示会出展情報



東京



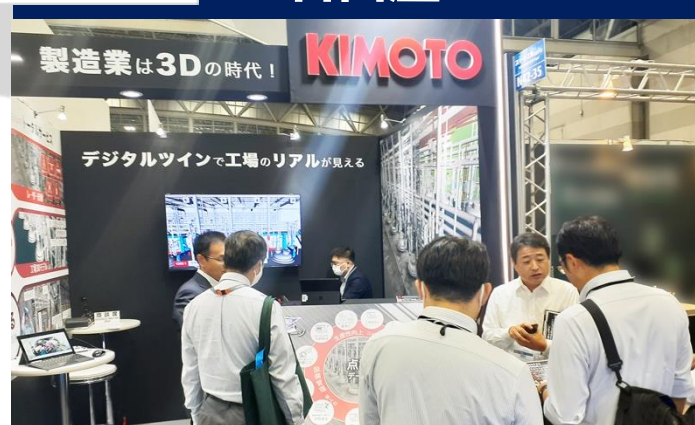
2024年7月

メンテナンス・レジリエンス
TOKYO 2024

維持管理の効率化につながる
DXソリューションをご提案



名古屋



2024年10月

スマート工場EXPO
名古屋 2024

点群の利活用による工場再編・
生産性向上をご提案



ミュンヘン



2024年11月

BIM WORLD
MUNICH 2024

点群データの利活用
工場の計測、データ加工、見える化

コンサルティング新規受注

- 製造業であるKIMOTOの工場DXの経験を活かした製造業DXのサービスを、日本及び海外へ展開します。
- 製造業DXと働き方改革の相乗効果で、DX推進に貢献してまいります。
- 3月期決算企業で最も早い株主総会5月開催を実現したKIMOTOのノウハウで、決算早期化を支援します。



- 1 2025年3月期 決算について
- 2 2026年3月期 通期業績予想
- 3 フィルム事業
- 4 デジタルツイン事業
- 5 トピックス**
- 6 第6次中期経営計画



トピックス

2024年度産『実りの百年米』新たな販路開拓

東京 銀座 / 渋谷



米処 結米屋 -ゆめや-

5つ星お米マイスターが選ぶ専門店

2025年5月より販売スタート

名古屋 近郊2店舗



サポーレ

高級スーパーマーケット

2024年12月販売スタート

名古屋 近郊5店舗



旬楽膳

オーガニック&ナチュラルフード専門店

2025年4月より販売スタート

生成AIの全社導入による業務改革

- 生成AIの全社導入により、業務の効率化と従業員の作業負荷の軽減を進めています。
全従業員がAIに慣れながら活用できる環境を整え、業務の質と精度の向上を目指します。



日経Smart Work大賞2025 中堅企業部門賞受賞

NIKKEI
Smart Work

Awards 2025 中堅企業部門



株式会社日本経済新聞社
代表取締役社長 長谷部剛氏

株式会社きもと
代表取締役社長 小林正一

2025年2月25日 表彰式にて

- 1 2025年3月期 決算について
- 2 2026年3月期 通期業績予想
- 3 フィルム事業
- 4 デジタルツイン事業
- 5 トピックス
- 6 第6次中期経営計画**



第6次中期経営計画

2026年3月期 – 2028年3月期



KIMOTO

第5次中期経営計画 振り返り 定量推移・定性内容

連結	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
売上高（目標）	13,000	14,000	16,000
売上高（実績）	9,623	9,910	11,294
営業利益	△626	214	1,340
営業利益率	-	2%	12%
PBR	0.63	0.73	0.88
ROE	-	1.9%	5.4%

- 新型コロナウイルス感染症の影響による市場変動
- 輸送機器向け内外装部材としての成型シリーズをグローバル展開
- 米国連結子会社の苦戦 ●新製品の市場投入不足
- LiDARフィルタリング受託作業の大型案件失注 ●ワークフロー改革による決算早期化の継続

私たちの新しい可能性への挑戦。

国を越え、枠を超え、化学・デジタル・ノウハウで世界に貢献する

創業の精神を受け継ぎ、私たちの新たな挑戦が始まる

人種や国籍、性別、学歴、年齢に囚われることなく繋がりあえば、KIMOTOの可能性は無限大
一人ひとりが未来に胸を高鳴らせ、化学技術・デジタル技術・体験とノウハウを活かした
ワクワクで世界を満たそう！



IoT to IoT+

つながる“すべてのモノ”が環境にやさしくあるために
私たちのノウハウで貢献する未来

Connecting sustainably. Empowering the future.

売上・営業利益目標 売上構成 [連結]

KIMOTO

単位：百万円

2025年3月期 実績

2028年3月期 目標

売上高

11,294

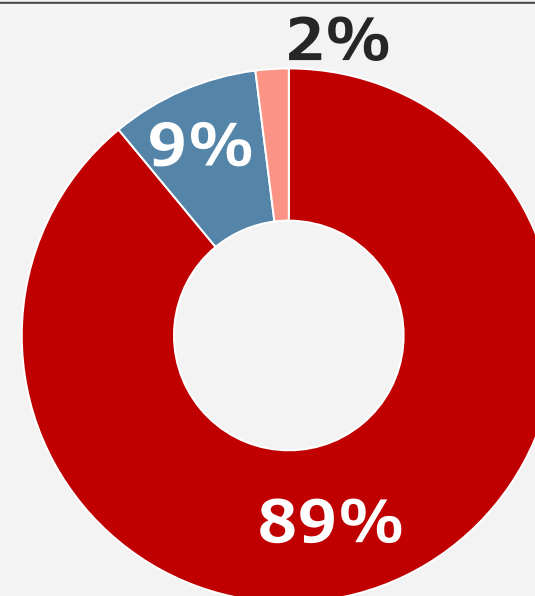
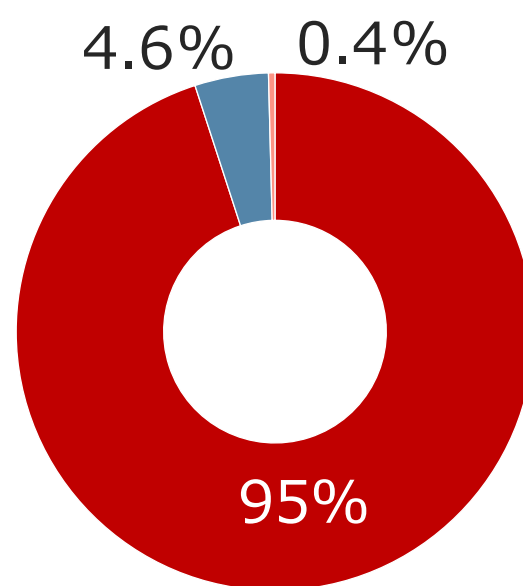
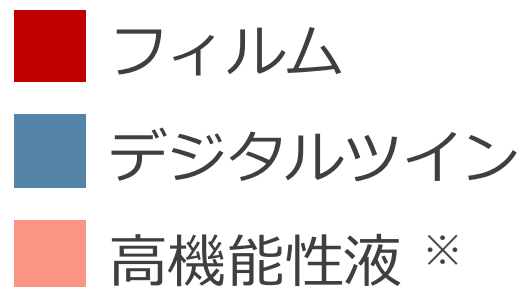
13,300

営業利益

1,340

2,100

売上構成



※フィルムで培ってきた高付加価値性能を付与できる液材料のこと

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

KIMOTOグループ 会社別売上目標 [連結]



単位：百万円

2025年 3 月期 実績

2028年 3 月期 目標

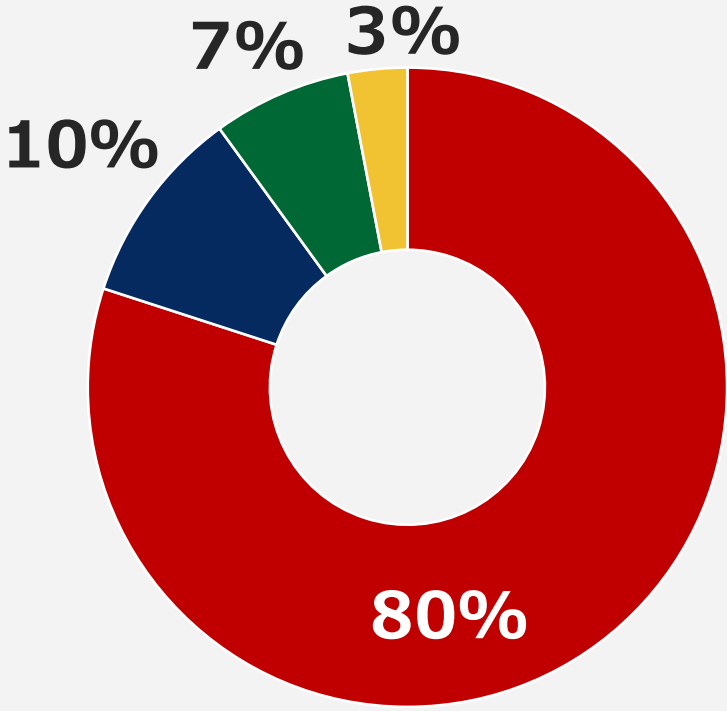
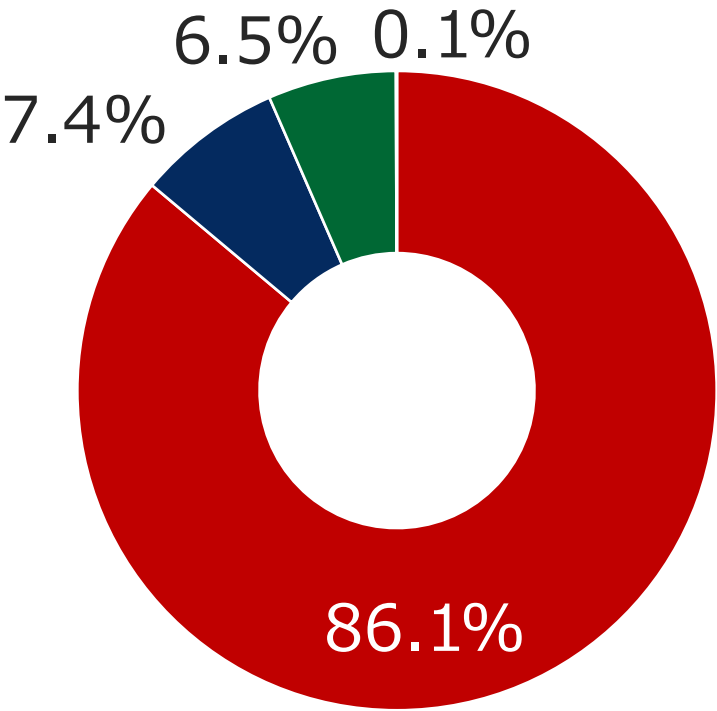
売 上 高

11,294

13,300

会 社 別

- 日本
- アメリカ
- スイス
- 中国



Digital Twin

効率化
Efficiency

コスト低減
Cost

DX
2028年3月期
売上高
1,000百万円

無駄削減
Futility

管理
Management

KIMOTOのデジタルツイン技術

KIMOTO

目的に合わせた計測と3Dモデル化

はかる

計測・撮影

レーザー計測



360度撮影



つくる

加工

工場3Dモデル



橋梁3Dモデル



みる

管理・活用

デジタルツインデータ



360度画像＋属性・AR



伴走支援型コンサルティング

KIMOTO

三歩先を描いて、すべての人に一歩先の働き方をご提案



働き方改革の推進

改革体験
・
DX実践ノウハウ
強みを
更にUP



製造DXの推進

Kimoto

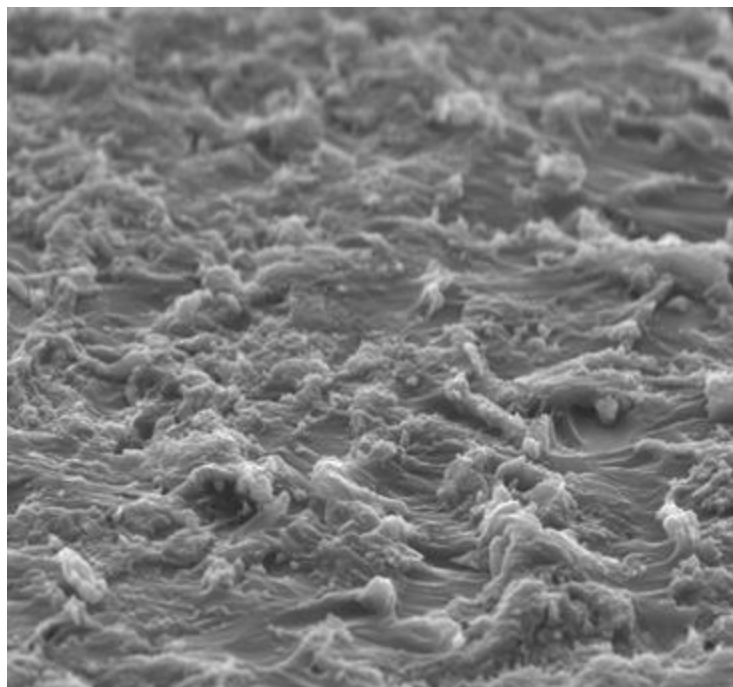


Client



高機能材料事業 新たな高付加価値製品の創出

KIMOTO



異種基材

2028年3月期 売上高

1,300百万円



高機能性液

2028年3月期 売上高

300百万円

※フィルムで培ってきた高付加価値性能を付与できる
液材料のこと



エコ製品

2028年3月期 売上高

2,100百万円

高機能材料事業の注力分野

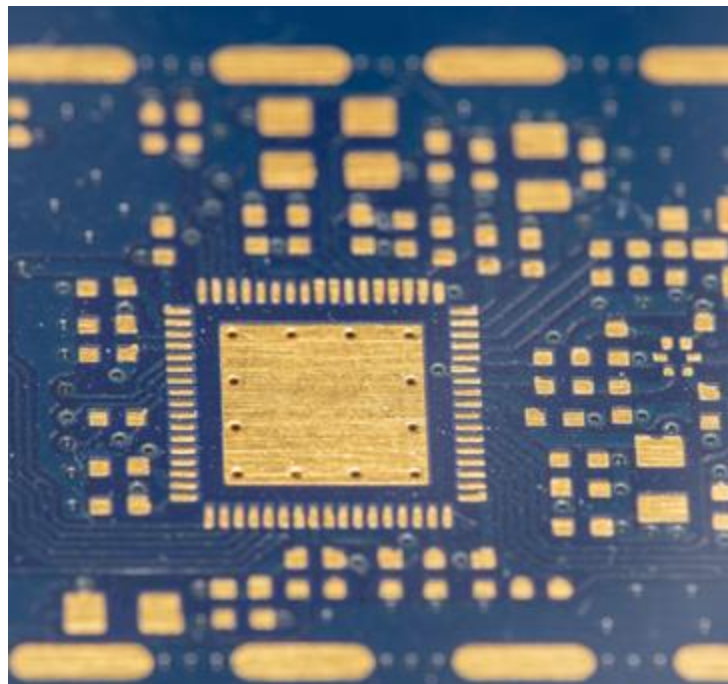
KIMOTO



医療

2028年3月期 売上高

100百万円



半導体

2028年3月期 売上高

400百万円



エネルギー

2028年3月期 売上高

400百万円

分散

ブレンド

塗装提案

高機能性液※

2028年3月期
売上高

300百万円

KIMOTOファームの活動

KIMOTO

2026年 有機JAS認証を目指して

2024年



有機的栽培
スタート

2025年

有機JAS認証
転換期間

有機的栽培
(上記以外の圃場)

2026年～

有機JAS認証
取得

有機的栽培
(上記以外の圃場)

2028年3月期
売上高
30百万円

技術本部の戦略

KIMOTO

JX (R&D) 新規製品化数 **4** 倍

分業推進

実験装置の
自動化

データ解析
AI活用

2028年3月期
新製品寄与率
12%

※新製品とは発売から3年以内に発売された製品を含む

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

技術本部の戦略

環境対応 CO2削減

KIMOTO

エコ材料

溶剤低減

再生可能
エネルギー

2028年3月期
CO2排出量
65%減

工場DX化

3 R推進

生産の
効率化

企業マネジメント戦略 企業基盤の強化

KIMOTO

IT・DX戦略

人材戦略

生産性向上

全社AI導入 IT・DX 育成

グローバル研修

基幹システム強化

新人事制度 PJ

IR・PR戦略



決算説明会開放



株主懇談会の自由化



IRイベント実施



地域貢献



週休 3 日

AI / DXで給与も時間も豊かに

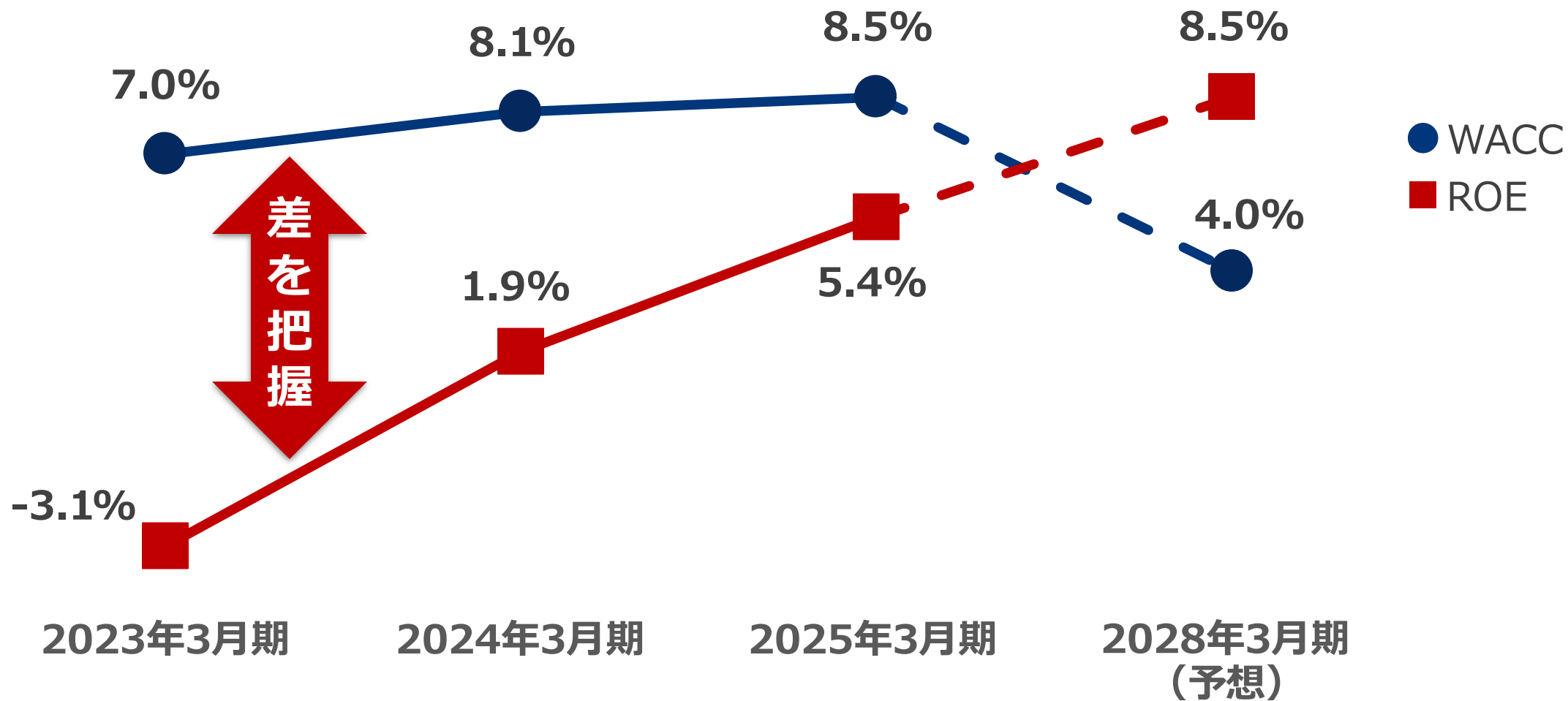
KIMOTO



資本コストと株価を意識した経営の実現に向けた対応

KIMOTO

株主資本コスト（WACC）と株主資本利益率（ROE）との差

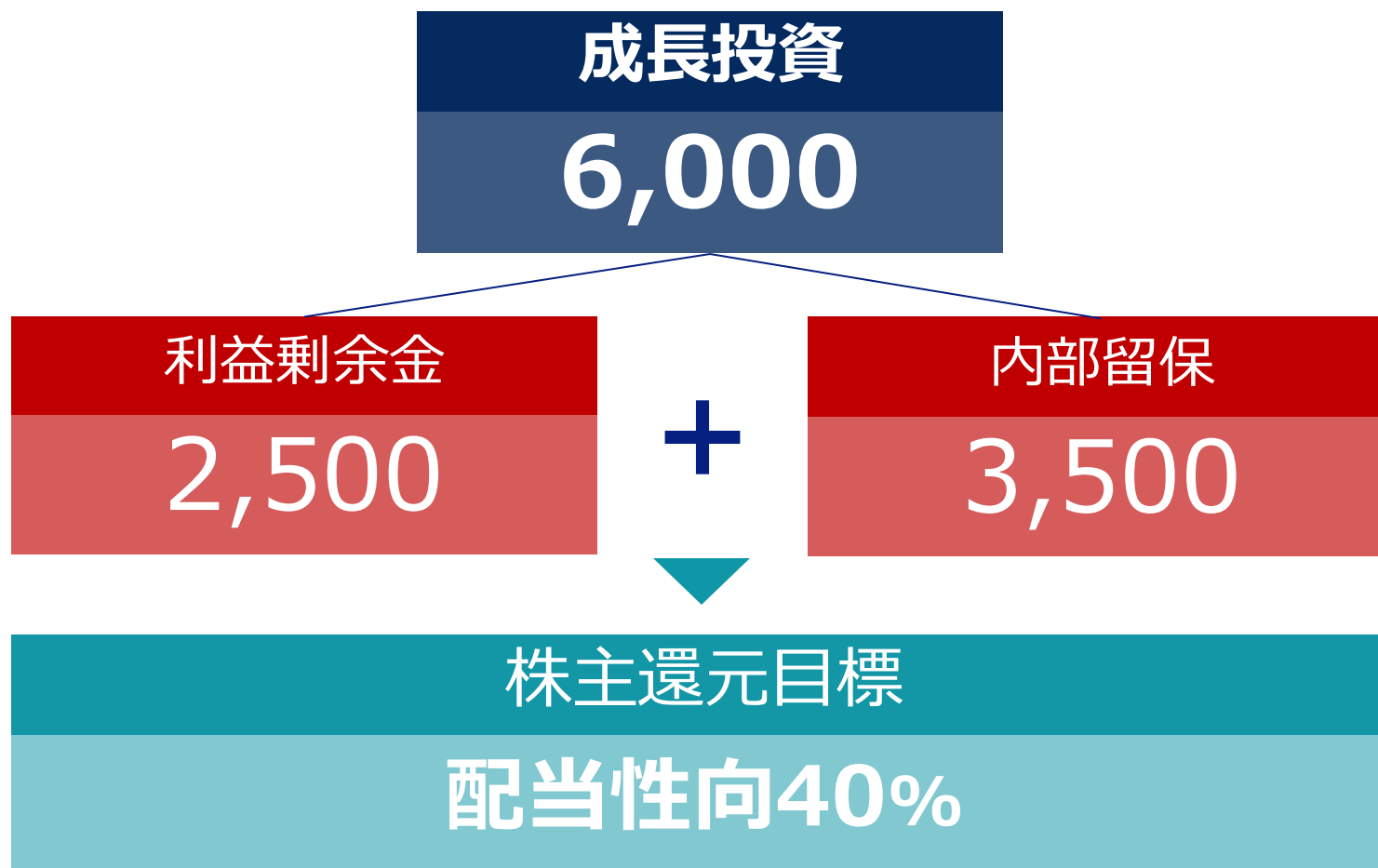


資本コストと株価を意識した経営の実現に向けた対応

KIMOTO

成長投資による持続的な企業価値向上と、安定的な株主還元の両立を実現

単位：百万円

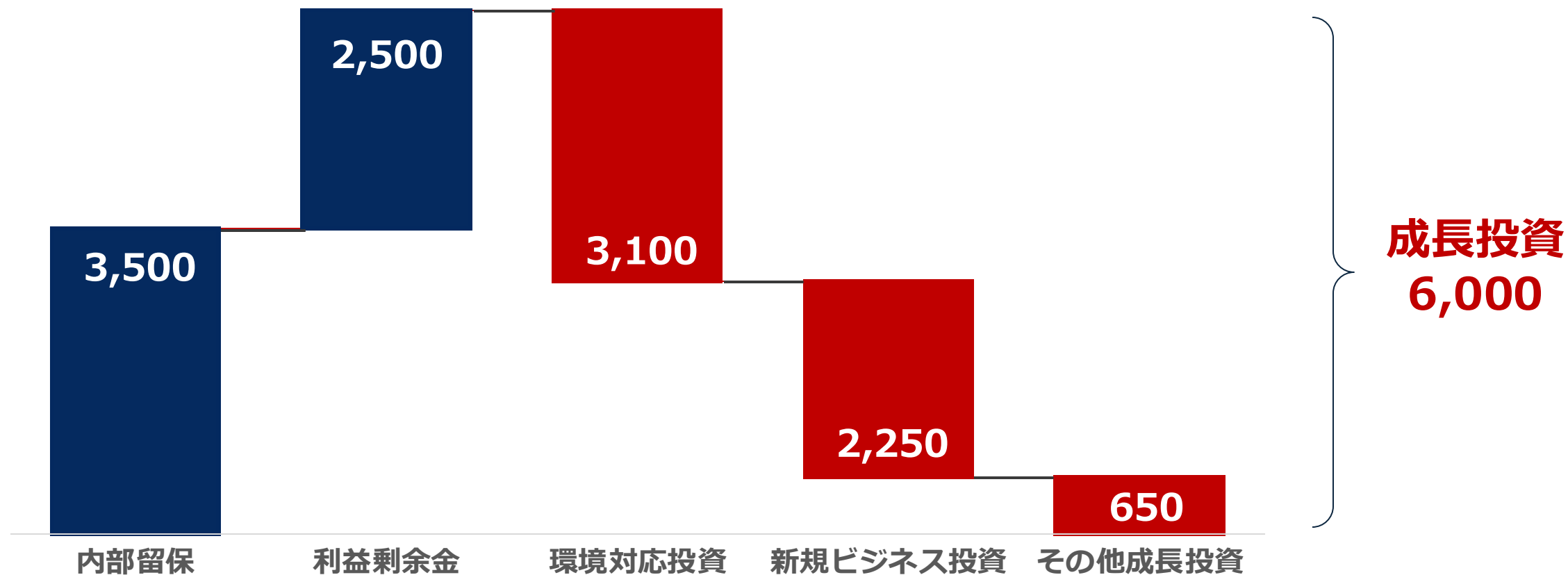


資本コストと株価を意識した経営の実現に向けた対応

KIMOTO

成長投資の内訳

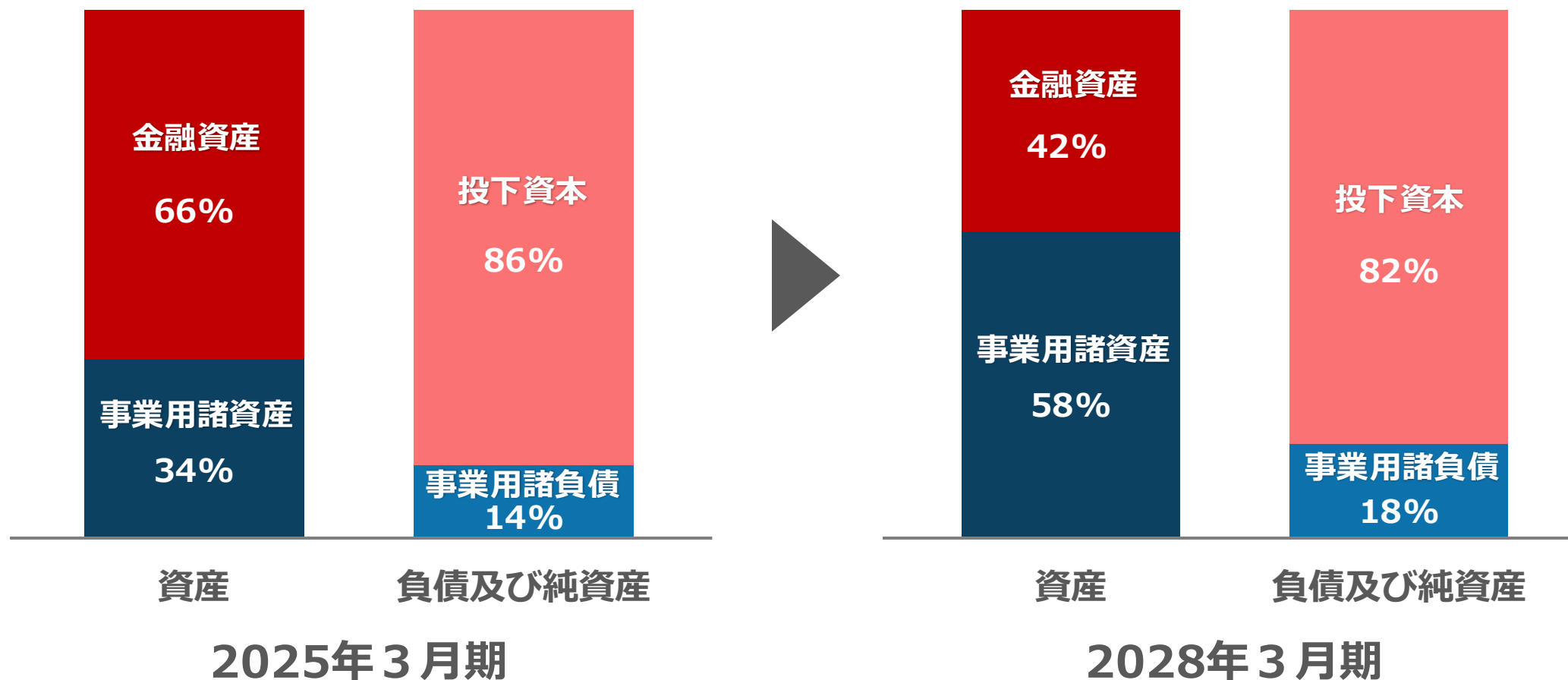
単位：百万円



資本コストと株価を意識した経営の実現に向けた対応

KIMOTO

成長投資を行った後の2028年3月期のバランスシート予想



金融資産 : 現預金、投資有価証券 等
事業用諸資産 : 営業債権、棚卸資産、有形/無形固定資産 等
投下資本 : 株主資本、その他
事業用諸負債 : 営業債務、労働債務/引当金 等

資本コストと株価を意識した経営の実現に向けた対応

KIMOTO

KIMOTO DNAの取り組み

技術革新と製品開発の強化

グローバル市場への更なる展開

人材育成と組織力の向上

成長投資の配分

株主還元の充実

自己株式の活用

政策保有株式の解消（2027年まで）

達成のための指標

利益率改善

営業利益率16%水準へ

投資の改善

成長投資6,000百万円

資本政策

配当性向40%

資本収益性 高
ROE 8%

決算説明会 動画のご案内

KIMOTO

本資料では、2025年3月期決算および中期経営計画についてご説明しております。ご理解をより深めていただくために、決算説明会の動画もあわせてご活用いただけますと幸いです。

▶ ご視聴はこちらから

https://www.kimoto.co.jp/investor/news_20250523





つながる“すべてのモノ”が環境にやさしくあるために
私たちのノウハウで貢献する未来

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
本資料（業績見通しを含む）は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいて当社が作成したものであります。
実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果となる可能性があります。